

## 7) DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発症率

2015年度<2015年4月1日～2016年3月31日退院患者>

DPC6桁コード	医療資源を最も投入した傷病名	入院契機病名との同一性の有無	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	—
		異なる	—	—
180010	敗血症	同一	—	—
		異なる	—	—
180035	その他の真菌症	同一	—	—
		異なる	—	—
180040	処置・手術等の合併症	同一	22	0.66%
		異なる	11	0.33%

### <集計方法と定義>

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆症例数が10未満の数値の場合は、—(ハイフン)で表示しています。
- ◆最も医療資源を投入した傷病名が播種性血管内凝固(DPC6桁130100)、敗血症(DPC6桁180010)、その他の真菌症(DPC6桁180035)、手術・術後の合併症(DPC6桁180040)について、入院契機病名(DPC6桁レベル)の同一性の有無を区別して症例数をカウントしています。
- ◆同一性の有無とは、上記4つの各医療資源最傷病の症例(DPC6桁レベル)について、様式1の入院契機傷病名に対するICD10コードが、下記表の医療資源最傷病名に対応するICD10コードに該当している場合は「同一」とします。

### <解説>

当院においての「DIC(播種性血管内凝固症候群)・敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率」の中で多い症例は、自院・他院問わず透析療法に必要なシャントが血栓などで閉塞し使用できなくなってしまった際の治療入院です。また、大腸ポリープ切除や生検による後出血なども挙げられます。